

2021年度上富田町立上富田中学校(学校経営方針)スクールプラン

上富田町「めざす子ども像」

- すすんで考える子
- 心豊かに活動する子
- 体をきたえる元気な子
- ふるさとを誇りに思う子
- 視野を広くもつ子

保護者・地域の願い

- どの子も元気に楽しく通える学校
- 確かな学力と進路保障
- 人の気持ちがわかる人に育ってほしい
- 地域に誇りをもち貢献する生徒の育成
- 学校・家庭・地域の一体化

【学校教育目標】

社会に貢献しながら自分らしくよりよく生きる生徒の育成
(社会貢献力、自己実現力を高める教育実践)

【めざす生徒像】

- ①授業(向学心をもつ)
- ②あいさつ(礼儀正しい)
- ③そうじ(奉仕の心がある)
- ④部活(連帯感をもつ)
- ⑤仲間づくり(共生心にあふれる生徒の育成)

前年度の学校評価

- ルールを守る指導や子どもの安全確保
- 学校の様子がわかるよう努力している
- △わかりやすい授業・家庭学習に弱さがある
- △「良さを認める」子ども理解に努める

生徒の実態

- 基本的な生活習慣が身についている
- 友達を思いやるやさしい心が育っている
- 校則や交通安全を守ることができる
- △自分の意志を伝えることに弱さがある
- △最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- △ノーマディアの取り組みに弱さがある

重点目標

確かな学力の向上

- 基礎・基本の確実な定着
- 他者と協働的に学びに向かう生徒の育成
- 家庭学習の定着

具体的な取組

- 学習規律を確立するため、学びのルールを粘り強く指導し学習習慣の定着を図る
- ◎対話的で深い学びの視点に立った授業改善
- ◎手引きの活用と自主学習の充実を図り、家庭学習を定着させる
- 不登校生の学力・進路を保障するため、関係機関と連携し、組織的に取り組む
- キャリア教育の充実を図る

指標

全国学調・県学習到達度調査で正答率が全国、県平均を上回る
(保)勉強がわかる53%→65%
(職)家庭学習の工夫67%→75%
(職)補充学習70%→80%

豊かな心の育成

- 道徳・人権教育の充実
- いじめの未然防止、早期発見
- 「5つの上中」の充実
- 体験学習・体験活動の充実

- 特別の教科「道徳」・人権教育を充実させ、人権意識の向上を図る
- ◎年間に複数回いじめアンケートを行い、いじめの早期発見・対応に努め、未然防止を図る
- ◎授業・あいさつ・部活・掃除・仲間づくりの取り組みを具現化し、実践することでコミュニケーション能力・自己肯定感・自己有用感の育成を図る
- 体験学習・体験活動を通して、道徳の実践力を育成する

いじめの解消率100%
(保)登校が楽しい86%→90%
(保)自分の意志を伝える65%→75%
(保)粘り強くがんばる67%→80%

健康な体と安全な行動の育成

- 望ましい生活習慣の確立
- 体力向上の推進
- 危機回避能力の育成

- ◎毎日の記録などで、望ましい生活習慣の指導を家庭と連携して行う
- ◎小中・家庭と連携し、ノーマディア週間の取り組みを推進する
- 体育授業・部活指導で、体力向上を図る
- 交通安全教室・救急救命法研修及び、避難訓練を計画的に行い、危機回避能力を育成する

(保)進んで学習や読書に取り組ませよう心がけている62%→70%
(保)テレビやゲームの時間を取りすぎないように気をつけている61%→70%
(子)ノーマディア達成率60%→70%
(職)食に関する意識77%→90%
避難訓練の実施 年間3回以上

地域とともにある学校

- 共育コミュニティの推進
- 学校からの情報発信を強化
- 小高特支の接続、一町一中の利点を生かした学校間連携

- ◎学校運営協議会を母体として、地域の豊富な人材に協力を依頼する
- 1年 地域学習への協力
- 2年 職業体験学習への協力
- 3年 地域交流・補習への協力
- 各種便り、町HP等を通して積極的に学校の情報を発信して、授業や行事等を積極的に公開する
- 小中の円滑な接続のための取組と熊野高校との交流を推進する

(保)学校は地域や家庭と連携し、地域とともにある学校づくりに努めている80%
(職)地域の人材活用は成果を上げている80%
(運)共育コミュニティの推進 A

◎：特に重点的に取り組むこと